

今午已早より十二月になりました。大人が入るに生きるがま
ければいいのかどうか、"今じりと暮らせばいもの
じようかね。

紅葉すらあつたのかなあ。という
位で、今年の紅葉はせいだね。
レと感じることのやなかで様
す気がします。

いや、もう冬か。といえれば、様
あるし、もうじきなり。

十一月末に初雪、そして雪も今
つき、高い山は白くなりました。

今年も
ありかとう
ございま

15.12. No.222
発行市聞出版社
0883-88-5292

今年も
ありかとう
ございま

雪虫もとくまびに何回も見て、暖しくなつ
たりして、肩向には暖かい気候が続い
て、まあ冬はあまり好きではない自分にと
こはいい天気ではあります。

う言えば、気象の長期予報では、暖冬
だと言えます。

草刈りをしても、人には気がしないまし
た。というのは、季節の言ひ伝え、カマ
キリの即が下の方にあれば雪の量が少ないと
の話があり、今年のカマキリは地面に近い所に卵
があるのを何回か見てました。あるいはと思
てました。

カマキリの予報だけ、雪が少ないと、と言う事です。

時、物が早くも、山の中、自然の中で生活し
ていれば、生物の変化が季節を感じるとい
うのが、春にむかうは福寿草からほじまえ
ユキワリイチゴを見ると、春だ。モンキカラム
飛びはじめ。虫たちが動き出すと、クモが巣
を作りだす。ミンサガイやウグイスが鳴きはじ
め、山の色が変わり出し、一面ごとに色が深
くなり、色深くなるとアサキスゲが飛来してく
る。アカシナシなど時々鳴く、小鳥かエサ運び
が忙しくなるなど、生きる物すべてが、一元気に
活動している。自分でええ氣になります。

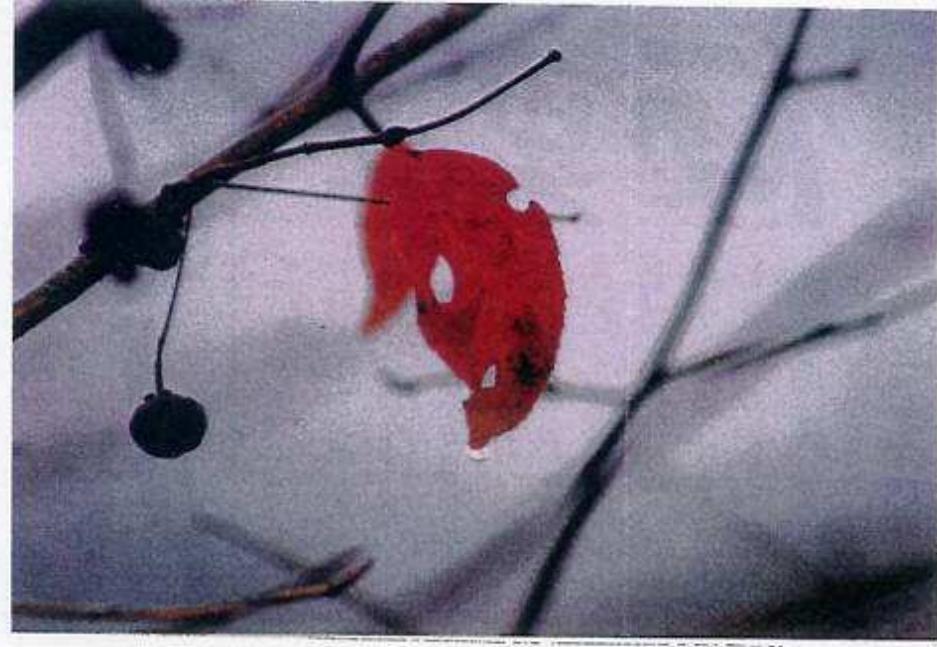
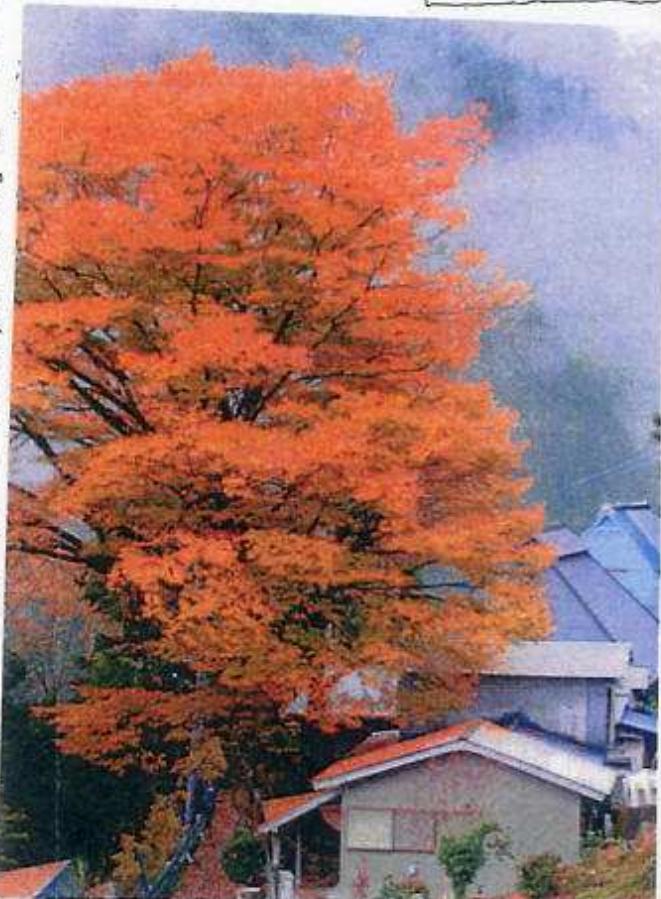
振りかえってみると、一年間、山の中を歩きま
わった気分で、と、國有林の中を歩き
ます。そ山ひと、一トメ以下の大物は、極端に少
なく、コケや苔類、そして苔草だけが見つけら
れています。

林や松の育林の為の調査、点検などですが、そ
の中でも、上方の姿や鳴き声が少なくなる様
です。そんでも、一トメ以下の植物は、極端に少
なく、コケや苔類、そして苔草だけが見つけら
れています。

自然界は、変化していく様に思つていて、
まだ、何年振りか、茅草や尾根用
の茅刈りをしてしまいますが、そこへスキ
が、小さくなつて、細くなつてゐるが多くの
ものが見られました。

ゆびす。数年前は、林検りうで、ウラ岩
モニなどの皮が、いたる所にはがさぬる
のが見られました。

それが、今は枯れはじめ、剣山や三鏡をは
めているのが現況です。



まよまよ なる

林や松の育林の為の調査、点検などですが、そ
の中でも、上方の姿や鳴き声が少なくなる様
です。そんでも、一トメ以下の植物は、極端に少
なく、コケや苔類、そして苔草だけが見つけら
れています。

この間に、事のくり返して、また一年が経ち、士
によると、せの中、忙しくなる話をかりにすつ
て、雪の降りの待ちを待つ様子が待つ、
今日、の頃、どういえば、冬眠の